

- 1 審議会名 第2回上田市国民健康保険運営協議会
- 2 日 時 令和6年1月18日(木) 午後1時30分から午後2時45分まで
- 3 会 場 上田市役所3階301・302会議室
- 4 出席者 宮川隆一会長、新田さやか副会長、長谷川和生委員、原有紀委員、飯島久子委員、宮下暢夫委員、斉藤拓康委員、高見澤勇委員、合葉雅彦委員、前田浩史委員、井口弥寿彦議員、浅倉俊樹委員、内川佳子委員、西澤初江委員、渋沢俊道委員、橋詰美穂子委員
- 5 市側出席者 小相澤副市長、室賀健康こども未来部長、町田健康推進課長、根岸収納管理課長、坂口国保年金課長、戸谷健康推進課課長補佐、西澤国保年金課課長補佐、川俣国民健康保険担当係長、佐口保険事業係長、尾島国民健康保険担当主査、中村国民健康保険担当主事
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ ~~一部公開~~ ・ ~~非公開~~
- 7 傍聴者 0名 記者 2名
- 8 会議録作成年月日 令和6年1月22日

協 議 事 項 等

- 1 開会(事務局)
- 2 あいさつ(副市長)
- 3 新委員の紹介(事務局)
- 4 諮問(副市長)
- 5 会議録署名人の指名
宮川会長から、内川委員と西澤委員の2名を会議録署名人に指名
- 6 議事
 - (1) 諮問内容の説明(事務局：資料により説明)
 - (2) 質疑等

委 員：基金の推移を令和12年度までにしている意図と金額の根拠は何なのか。

事務局：現行税率のままで、事業費納付金が同額で被保険者数が過去3年間の減少幅で推移した場合の税収を試算したものです。令和12年度までの試算を載せているのは、県が納付金統一を目指している年であるためであります、令和8年度以降は赤字に転じるため、マイナスが大きい資料となっております。

委 員：国保税率を上げるのは致し方ないと思います。将来を見据えた基金の流れを見ながら、考えていき、総合的に判断して上げざるえないと考えます。

委 員：医療費の適正化は大きな課題と考えています。原因として、生活習慣やメタボ、特定健診を受けない等、被保険者として義務もありますし、市として、特定健診を受けた後に、予防として、どのような保健事業していくのか、そこが重要と考えます。

(質問終了)

会 長：諮問の内容に関して、事務局案を承認してよろしいですか。
(賛成多数で議決)

会 長：答申書についても、私と事務局の方で纏めてよろしいですか。
(賛成多数で議決)

7 その他

(1) 上田市国民健康保険 保健事業実施計画（データヘルス計画）について

(2) 今後の日程についての説明（事務局：資料により説明）

・審議終了により次回会議は開催しない

8 閉会（事務局）